

科目名			職業性中毒学論文指導		
科目責任者			上 野 晋 (職業性中毒学 教授)		
開講時期:			3～4年次	単位数:	6 単位
● 科目の教育目標 一般目標 (GIO) in vitro実験系およびin vivo実験系で行った毒性評価試験の結果を論文としてまとめて、化学物質の特定臓器表的毒性の評価について総合的に理解する。 行動目標 (SBOs) 1) 化学物質曝露による生体影響に関するテーマを見出すことができる。 2) 毒性評価における個々の実験手法の意義を見出すことができる。 3) 毒性評価における個々の実験手法の問題点を見出すことができる。 4) 自分のテーマが化学物質の毒性評価、毒性機序解明に果たす意義を見出すことができる。 5) 自分のテーマの意義を論理的に記述することができる。 6) 研究の対象、および用いた実験方法を簡潔に記述することができる。 7) 解析結果を論理的に、明瞭に記述することができる。 8) 得られた結果を統計学的手法を用いて適切に考察することができる。 9) 得られた結果を過去の研究結果との関連で考察し、記述することができる。 10) 得られた研究結果の今後の展望を記述することができる。					
● 評価方法		学会・討論会におけるプレゼンテーション内容40%、報告書または論文内容40%、討議への参加度20%等で総合評価する。			
● 参考文献		指導の中で必要に応じ紹介する。			